

## スマトラトラの人工哺育

石和田 研二  
(よこはま動物園)

スマトラトラ (*Panthera tigris sumatrae*) は、インドネシアのスマトラ島に生息するトラの1亜種である。よこはま動物園では、開園時より飼育を継続しており、2019年8月19日に、1頭のメスが生まれた。同じペアによる3回目の繁殖となった。授乳しているように見えたが、仔の体重は減少傾向で、8月27日(8日齢)に捕獲したところ、身体は冷たくなっており、人工哺育に切り替える事となった。

切り替え当日、1回目、2回目は自力で飲むことが出来なかった為、カテーテルでミルクを与えたが、3回目の哺乳時より使用する乳首の大きさを大きい物に変更した結果、自力で飲むことが出来るようになった。使用したミルクは、共立製薬(株)製のエスビラックパウダー猫用ミルクを与えたが、ミルクを吐き戻したり、半固形状のミルクの塊のようなものを吐き戻すようになった為、9月1日(13日齢)途中まで与え、その後(株)森乳サンワールド製のワンラックゴールドンキャットミルクに変更した。哺乳の回数は、6回/日から徐々に減らし、12月7日(120日齢)から1回/日とした。また離乳食は、10月7日(49日齢)より与え始めた。

保育器は、アトムメディカル(株)社製の保育器 Rabee Incu i (ラビーインキュ i) を器内設定温度 30℃とし、28日18時より29℃に変更し、29日6時から28℃に変更して使用した。その後、仔の成長に伴い、8月31日(12日齢)より日中のみペットケージで飼育した。夏季の哺乳となった為か、保育器内の温度が下がらない為、9月2日(14日齢)より、終日ペットケージで飼育した。

その後9月22日(34日齢)室内を衝立で区切って、140 cm×120 cm程の場所に移し、10月1日(43日齢)より、衝立の位置を移動し、140 cm×340 cm程に広げた。11月27日(100日齢)より日中トラ舎に移動し、12月1日(104日齢)からは終日トラ舎で飼育した。これまで自然哺育で生育した個体の体重と比較し、大きな差異は認められなかった。